

# お薬のしおり

No.159 (H27.5)

東京医科大学病院 薬剤部

## お薬に関する情報の入手方法について

みなさんは、病院・調剤薬局などでもらうお薬や、薬局・ドラッグストアで購入するお薬の情報はどのように入手されているでしょうか。

現在、インターネットには溢れるばかりのお薬の情報が公開され、書籍等も数多く販売されています。その結果、どれが正しい情報なのかを判断することが非常に難しく、ご不安に感じることもあると思います。病院や調剤薬局などで、処方せんをもとでもらうお薬については、それぞれのお薬の効能・効果や服用方法、副作用などに関する情報が記載された説明書やお薬手帳に貼るシール等が提供されます。また、一般用医薬品のうち、要指導医薬品および第1類医薬品については、薬剤師による書面での情報提供が義務づけられています。今回は、みなさんが活用できるお薬に関する情報源を紹介したいと思います。

**PMDA** (独立行政法人医薬品医療機器総合機構: Pharmaceuticals and Medical Devices Agency) (<http://www.pmda.go.jp/pnavi-01.html>)

医薬品などの健康被害救済、承認審査、安全対策の3つの役割を一体として行う世界で唯一の公的機関で、様々な医薬品等に関する情報提供を行っています。一般の方向けとして、薬局・薬店で購入できる一般用医薬品・要指導医薬品の説明書や、よくあるご質問への回答やおくすり服用時に関して守っていただきたい基本的な情報として「おくすり Q&A」が掲載されています。また、医薬品副作用被害救済制度等、お薬の副作用に関する情報も掲載されています。

**くすりの適正使用協議会** (<http://www.rad-ar.or.jp/siori/index.html>)

医薬品の本質の理解促進と医薬品の正しい用い方の啓発活動を展開しており、医薬品に関する情報検索の他、薬の使い方（お子さんへの薬の使用方法、点眼薬の使用方法等）、薬と食品の相互作用等の情報も掲載されています。各医薬品の説明文書として「くすりのしおり」



が公開されており、現在、「くすりのしおり」を作成している製薬企業は 150 社（平成 26 年 11 月末時点）にのぼり、日本語版（約 14,400 品目）に加え、日本に居住する外国人や日本から海外に行く日本人旅行者などに対応した英語版（約 4,000 品目）があります。

□日本ジェネリック製薬協会 (<http://www.jga.gr.jp/general/>)

日本でのジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用率は上昇傾向ではありますが、2010 年で約 40%（置き換え可能な市場シェア）と世界の使用率に比べると、まだ低い状況にあります。国は 2018 年 3 月末までに、ジェネリック医薬品のシェアを 60%以上に引き上げるという目標を掲げており、今後、ジェネリック医薬品の使用は更に進み、シェアが拡大していくことが予想されます。この情報サイトでは、先発医薬品とジェネリック医薬品の違いや、お薬の値段の計算、各種資料などが紹介されています。また、スマートフォンでジェネリック医薬品の情報検索や差額計算できるように、スマートフォン用サイト (<http://mobile.jga.gr.jp/>) も公開されています。

□日本 OTC 医薬品協会 (<http://www.ismi.jp/what/index.html>)

薬局・ドラッグストアなどで販売されている医薬品である OTC 医薬品（一般用医薬品）に関する情報サイトで、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てするという「セルフメディケーション」を実践するために必要な知識が掲載されています。

□各製薬企業 HP

各製薬企業のホームページでは、一般の方向けに、各医薬品に関する情報の他、様々な疾患に関する様々なトピックスが紹介されています。例えば、ノボ・ノルディスク社が提供している「糖尿病サイト」(<http://www.club-dm.jp/>)では、糖尿病について血糖値・HbA1c からインスリン治療まで関連する内容が数多く掲載されており、各種イベント等についても情報公開しています。また、大日本住友製薬の「健康情報サイト」(<http://kanja.ds-pharma.jp/>)や、アステラス社の「なるほど病気ガイド」(<http://www.astellas.com/jp/health/healthcare/>)では、高血圧、脂質異常症等、様々な疾患に関する基礎知識をはじめとし、治療方法や治療薬の概要、Q&A が掲載されています。

お薬に関する情報源はいろいろありますが、常に最新の情報を入手することを心がけ、お薬についてご不明な点やご不安な点がある場合には医師または薬剤師までご相談ください。